

新入医局員からのメッセージ（2023年度）

室伏 竜之介 先生

この度、岩手医科大学泌尿器科学講座に入局させていただいた室伏竜之介と申します。

出身大学は岩手医科大学で初期研修は出身地である静岡で行っていました。

私は学生の頃から泌尿器科を進路の選択肢の一つにしていました。手技や処置が多く、腎臓・尿管・膀胱・前立腺・精巣など幅広い臓器を扱っており、とても魅力的でした。また、基本的には外科系の科である泌尿器科ですが、腎不全や腎盂腎炎など内科的治療が必要なこともあり、そういった意味でも本当に幅広い知識や技術が必要な分野だと考えています。

初期研修で内科や外科、救急科などをローテートさせていただきましたが、やはり一番魅力的に感じたのは泌尿器科でした。

まだ医師3年目であり、泌尿器科医としては1年目ということで至らない点も多くあり、先輩の先生方には迷惑をおかけしてしまうかもしれませんが、日々勉強し、研鑽を積んで成長していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。また、学生・研修医の皆様にはしっかりと指導ができるようにしていきたいと思っていますので是非泌尿器科へ足を運んでみてください。

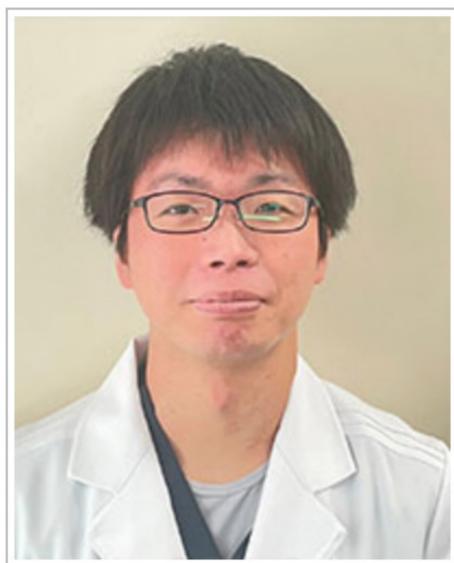


野崎 泰資 先生

この度、岩手医科大学泌尿器科学講座に入局させていただきました野崎と申します。岩手医科大学を卒業後、岩手県立中部病院での初期研修を終えまして、今年度から岩手医科大学で勤務させていただきます。

私は、泌尿器科に対して学生時代から授業や実習中での先生方の優しさ、雰囲気の良いさに惹かれ、漠然と興味はありましたが、初期研修中に診断から治療、その後のフォローまで自科完結的な治療を行えるという魅力を知り、加えて実際に学会発表させていただき、診療科としての深みやほかの先生方の偉大さを知ったことで自然と泌尿器科医になりたいと思うようになりました。

自分はまだまだ知識的にも経験的にも未熟な点が多いですが、偉大な先生方の背中を追って1日1日成長していければなと思っています。少しでも泌尿器科に興味のある学生さん、研修医の先生がいましたら気軽に声をかけていただくと嬉しいです。よろしくお願いいたします。

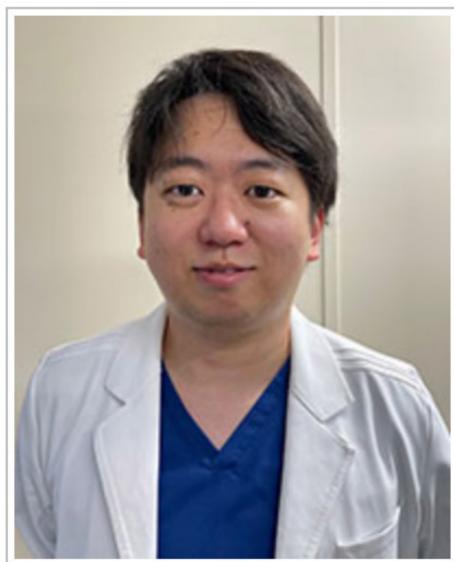


井藤 練刀 先生

この度、岩手医科大学泌尿器科学講座に入局させて頂いた井藤練刀と申します。

初期研修は岩手県立中部病院にて学ばせて頂きました。私は初期研修、初めの時点では希望の診療科はなく、内科系、外科系すら決まっておりました。そのような中で、初期研修にて泌尿器科の学会参加・発表、初期研修を通じて、泌尿器科の内科的要素、外科的要素、泌尿器科的要素を体感し、非常に幅広い診療が求められる所に魅力を感じ、入局することを決意しました。また、私は研究にも興味があり、今年度より当講座の大学院にも入学させて頂きました。臨床、研究共に、まだまだ力不足で、様々な方のお力をお借りさせていただくことも多いとは思いますが、少しでも、岩手県の医療、研究に貢献できるよう真摯に研鑽していく所存です。

最後に、学生、初期研修医の皆様には是非泌尿器科を研修でローテートして、泌尿器科の魅を体感して頂ければ幸いです。



橋爪 大旗 先生

この度、岩手医科大学泌尿器科学講座に入局させて頂いた橋爪大旗と申します。初期研修は東北医科薬科大学病院にて学ばせていただきました。私は研修が始まる頃は自分が行きたい科を決めかねておりました。様々な科をローテーションする中で、一つの科の中に幅広い領域と高い専門性がある泌尿器科に魅力を感じ、入局を決意しました。

まだまだ知識、技術共に力不足でご迷惑をおかけするかと思いますが、少しずつ経験を積み岩手の医療に貢献できるよう努力いたしますので、よろしくお願いいたします。また、泌尿器科について興味を持っている学生や研修医の皆様は泌尿器科に遊びに来てください。一緒に楽しく学んでいきましょう。



竹内 孝太 先生

このたび、岩手医科大学泌尿器科に入局させていただくことになりました。竹内孝太と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は岩手県立大船渡病院で初期研修を行いました。研修時は、泌尿器科の素晴らしい先生方と出会うことができ、泌尿器科の魅力に気づくことができました。泌尿器科は内科的、外科的領域まで幅広い診療を行える科である事や、また多くの種類の手技や手術があることなどが魅力に感じました。

4月からは、岩手医科大学で勤務をさせていただきます。まだまだ知識も実力もない未熟者ですが、多くを学んで経験を積んで参りたいと思っています。ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

